神代辰已 監督作品 原作 連城三紀彦 直木賞第九十一回受賞作品「新潮社」刊



歩いて下さい

江津子

求由

功枝昇







我裳協力 Yin & Yang 配給 松竹富士株式会社 ケイ・エンタープライズ

音楽 井上堯之 ■監修 川内康範

製作

奥山和由 長良じゅん/プロデューサー 三浦 朗 櫻井五郎/企画 栗林 茂/脚本 高田 純 神代辰巳/撮影 山崎善弘

本年度ベストワンの声 高く…… マスコミ界 早くも絶賛の嵐



女性も泣いた、男性も泣いた 試写会場は感動の渦

"恋文"のジャーナリスト用試写は6月から松竹試写室 にて頻繁に行なわれている。この映画の噂を聞いて駆け つけてくる雑誌編集者、新聞記者、TVディレクタ-DJ、映画評論家等で毎回試写室は満員。感動のあまり 一言も発せずに次の仕事へ向かう人、泣き顔が恥かしく てなかなか席を立てない人、帰り道に立ち上まって話し 込んでしまう人達…"恋文"は日頃映画を見慣れている ジャーナリストの心にまで深く入りこんでしまった。

- ★「久しぶりにアダルトで奥ゆきの深い映画に出会いまし 〈ノンノ・岸田文絵さん〉
- 「ドカーン、恋文だ…(絶句)」
- 〈バラエティ副編集長・大塚憲二さん〉 ★「こんなに素敵なショーケンを見たのは初めてです」 〈エル・ジャポン・中原永さん〉
- 「日本の映画で、大人の女の感情を、ここまできちんと
- 描いた映画は珍らしい」〈映画評論家・小藤田干栄子さん〉 「涙で見えなかったのでもう一度見たい」

本年度各映画 賞総ざらいか 力強い愛の傑作

ある朝、夫の将一はサンダルばきでふらりと出かけて いきました。そして結局夫は二度と家へは戻りませんで した……。

かつての恋人から届いた一通の手紙を残して去ってい った夫。それには"どうか私のことは大袈裟に考えず、 御自分の道を迷わずに歩いて下さい。江津子、と書かれ ていた。不治の病にかかり、あと半年の命の昔の恋人の めんどうを見ようという夫の決心はとても固かった。夫の心にあった夫だけの世界に戸惑う妻郷子。男と女。人間と人間の愛のドラマが今始まる。男の人生、女の人生、人間としての人生をみずみずしい感性で描ききった感動 の物語。

本年度ベストワンの声高く、作品賞、監督賞(神代辰巳) 主演男女優賞(萩原健一、倍賞美津子)助演女優賞(高 橋恵子) 脚本賞(高田純) 等各映画賞総ざらいの噂高い、 愛の傑作である。



緒に変わっていければ 良かったと思ってる



御自分の道を恐んずに歩いて下さい

直木賞受賞、25万部ベストセラーの映画化! 原作者 連城三紀彦が語る映画「恋文」

……その賞の発表があった時より、完成した映画の試写 を観た時の方が、僕にはずつと嬉しくありました。「こん なこと現実にあるだろうか」と思わせたに違いない原作 が「これが現実だろう」と思わせる映画に変わっていま す。高橋恵子さんの奥ゆきの増した美しさを一辺に敷い て、萩原健一さんと倍賞美津子さんの個性と演技力が五 分で渡りあっているこの映画は既婚者には他人事とは思 えないものになり、これから結婚する人たちにも、夫婦 というものを、男と女というものを改めて考えさせるも のになると思います。生々しくなるぎりぎりの線上に成 立しているこの現実の正三角形を、僕は原作よりずつと きれいなものと思っています。

